

第4回東京池袋川柳会誌上旬会(いけせん)

米山 明日歌 選

特選

めらめらと二月堂から春が来た

中村宗一

秀作

定年を目前にして矢吹丈

猪口和則

ベテランの二一番の引火点

大釜洋史

ゆっくりと指から燃えて行く嫉妬

青山一休

ジュニア部門入賞

負けたくない燃える心にうそつかず

中学二年 / 石井里駆

佳作

燃え上がる歓喜忘れた四分音符

田岡 弘

眼の中に燃えている曇珠沙華

吉川 勇

がん告知燃える太陽揺れ動く

永嶋幸一

線香を燃やし一本線を引く

太田良美

別れ際あなたの嘘が燃えている

風祭鉢郎

あきつた好きなんじゃないく日まで

畑中真理子

なにもせず内臓脂肪燃える夢

若林正伸

あなただけ極楽鳥花の赤い口

くりこ

うちの孫掴まり立ちに燃えます

佐藤昭雄

燃えるまがさで明日を捕まえる

勝又恭子

選評

特選句 水取りの行事のことですね。めらめらと春が来る。という表現に ぐ、ぐっと惹かれました。燃えるからの発想、みごとです。

秀作 「定年を」...立て、立つんだ。という声が聞こえて来ました。

秀作 「ベテランの」...ここ一番。引火点。締まった句に。ベテランの味が出ていました。

秀作 「ゆっくりと」...体の末端。しかもゆっくりと。指から燃える。と言う言葉に 妙に納得致しました。

ジュニア部門 「負けたくない」...素直な句だと思いました。私と同じです。燃えるとは、自分、ある時は、他人にも負けたくない気持ちだと思います。正直な心を詠んでいると思いました。

